

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	かがやきこども園			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 16日		～	令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域に必要な事業所として信頼を得ている。	ご家族の困りごとに寄り添い相談援助を行っている。 医療的ケアを安全に行いながら支援している。 地域の関係機関と連携を図り様々な視点からの情報を集め、支援内容に活かしている。	何より、利用者様やご家族に教えてもらう姿勢を大切に する。 事業所側の理由で利用や送迎などの変更がないよう、地域の 資源を活かして対応できるか検討中。
2	利用者様、ご家族の皆様に必要な支援内容を充実させること を目標に体制を整備している。	日々の申し送りや面談時間で利用者様の状況の変化を聞き取 りし、柔軟に対応するよう努めている。 家族支援を目的に不定期だが土曜日を開所し支援している。 希望の多い入浴支援について、できる限り対応している。	利用者数が多い時のスペース配分について、積極的に別室も 使用することで改善していく。 専門性を高めるため、オンライン研修を活用して最新の情報 を得て支援に活かしていく（時間と費用の確保）。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	余暇、集団活動等の時間が不足している。	入浴支援や送迎時間の配分が多く、活動に関わる職員の配置が不足である。また、ご利用者様個々の日常生活に関するケアも連続するため、集団活動もなかなか難しい。	兼務保育士や理学療法士を配置することで、不足を補っていく。 児童発達支援、放課後等デイサービス、共生型生活介護の利用時間を整理して、更に活動内容を見直していく。 職員始め関わる人達チームで向き合い、意見を集約、試行錯誤しながら利用者様の思いをくみ取っていく。 活動内容を保護者に配布物で知らせ取り組んでいく。 また、ホームページや配布物で取り組みについて発信していく。 福祉社会内の資源をもっと活用する。
2	職員の欠員が出た時の対応。	医療的ケアの実施に必要な看護師の欠員が出た際、受け入れに影響が出る。現在は保護者への協力依頼で解決している。	必要な時間に看護師を補填できるのが理想。事業所の都合で利用調整が起きないように、短時間勤務の雇用や訪問看護事業所との連携の可能性を検討する。
3	職員全体のPC及びIT技術の不足。	難しいところは福祉社会内職員に教えてもらっている。	現状では業務の効率化が難しく、時間外勤務の要因ともなっているので、個人の技術向上が望まれる。ITは支援内容の向上にもつながる。研修が事業所として必要なのか？検討していく。